

マナグア



旧マナグア大聖堂。地震で屋根と内部が破壊されているが、外観は保たれている。再建計画もあるようだ



1972年の大地震で、フレームだけになった建物の1つ。モニュメント的にあちこちに残されている



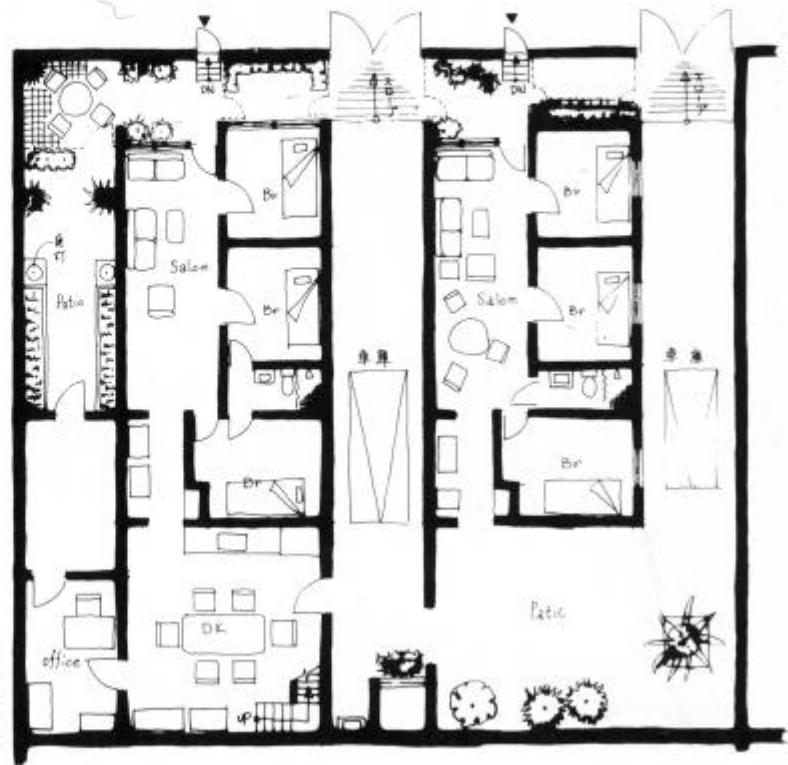
マナグア湖岸から見る風景。アメリカ銀行とコンチネンタル・ホテルが、72年の地震で残った。緑のなかに浮いている建物は過去を感じさせない



現アメリカ銀行。17階建てでも、72年の地震で残った高層建築。下に見えるのは議事堂



国立劇場。遠景の大聖堂とは対照的



GALO 1階平面

対照的な旧市街と新市街

旧市街中心を歩いてみる。元中央銀行は、アメリカ銀行として再利用されている。その隣には、平屋建ての議事堂と大統領府が建っている。再建を許された建物はほとんどなく、道路は広々としてまっすぐにつくられている。街区内は緑地や公園として整備され、交差点には噴水があり、街路樹としてエングレに似た黄色い花をつける豆科の

現在は旧市街を囲むように、ドーナツ状に新しい街が建設されている。しかし地震を恐れてか、3階以上の建物はほとんど見かけない。家並みも、一つの区画自体は大きく、敷地周りの垣根のなかに埋まっているようなたまたままいだ。都市計画もなく急速に大きくなったので、商店街とか繁華街といった人を集める中心部分がないため、何とも落ち着きのない街になっている。この街には、公式には推定90万人が生

とか倒壊を免れたいくつもの建物と、崩れかけた建物がその外形を残して建っている。実際、倒壊を免れた建物は、ほとんどが柱と梁と床版だけの姿となっている。建物の壁は焼きレンガを積みあげたものが多いことから、地震によって先に壁がはずれ、結果としてフレームが残ったものと思われる。同じ地震大国として、とても他人ごとではなく、身の引き締まる思いがする。

マナグアは、1858年からニカラグアの首都となっているが、その歴史は新しい。この国を南北に横切る大断層は、マナグア市の真下を通っている。首都となつてからは、2回の大地震に直撃されている。ことに1972年の直撃時には、マグニチュード6・25の直下型地震が起こり、壊滅的な被害を受けた。中心部の旧市街では、大地震以来、耐震建築以外の建設が禁止されていて、新しい建物はまったくない。何